

# mmc ニュース

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行 明治大学マスコミクラブ  
 〒101-8301  
 東京都千代田区神田駿河台1-1  
 明治大学広報部内 MMC事務局  
 電話 03-3296-4082  
 FAX 03-3296-4087  
 発行人 河合公八郎  
 編集人 大高 佳一

## 2005 MMC総会

### 1月26日(水) リバティタワーで

平成17年のMMC総会と新年懇親会が、1月26日(水)午後6時から、母校のリバティタワー23階「紫紺」で開かれる。

総会では、まず目賀田武蔵理事長から、平成16年の活動状況の報告と、新しい年の活動目標などの説明が行われた後、任期満了に伴う役員改選が行われる。今回は、

河合公八郎会長が「健康上の問題もあり、後進に譲りたい」として辞意を表明しているため、後任人事を中心に進められる。

11月25日に開かれた役員会では「このさい思い切った若返りを」という方針で一致し、会長、副会長、理事長、副理事長がいずれも退任あるいは交代し、それに伴う

続いて行われる新年懇親会では新潟中越地震の報道などで活躍した、テレビ新潟の駒形正明理事から、いまなお避難生活が続く現地のナマの状況などの報告が行われる予定。また、来春、マスコミ界に仲間入りの内定をしている4年生たちも懇親会に参加して、今後の抱負などを表明することになっている。

### 元気出して！新潟

テレビ新潟には明治OBが7人いる。10月23日の新潟県中越地震では、報道部に勤務するOBたちは、取材に飛び回った。休み無く続く余震の恐怖、崩壊や亀裂で寸断された道路、停電で闇となった街……。想像を絶する事態の中、自らを励ましながら取材を続けた。

上越新幹線が脱線して、東京との動脈が断たれた影響は大きい。秋の行客客はことごとくキャンセルとなり、温泉地から悲鳴が上がっている。ローカルテレビ局にとって営業面の痛手も大きい。長岡支社の営業活動は中断し、報道の支援にまわった。事業部もコンサートの中止などの対応に追われた。全国からいただいた多くの励みや義援金に感謝し、「元気出して！新潟」を合言葉に、2005年こそ明るい1年にしようとする新潟県民は願っている。(テレビ新潟放送網事業局長・駒形正明 77年政経卒)



MMC会長 河合 公八郎

## OBの心意気、学生たちに伝わる

### MMC活動この1年

ことしの日本は、災害の爪痕を引きずったまま暮れようとしています。夏の台風と豪雨禍、それに追いついた新潟中越などで、痛ま

まだに避難勧告の出された中で生活している人が約5000人もおられます。心からお見舞い申し上げます。また、アテネ五輪での日本選手やイチロー、秀喜の活躍があり、一方では日本人犠牲者を出したイ

見君も昨年のこのMMC就職セミナーに参加して先輩から元気をももらい、やる気になったと話してくれました。お礼をこめて今年のセミナーに駆けつけてくれたそうです。電通には3名が内定したそうです。セミナー最終のプロダクション

しい多くの犠牲者が出ました。特に中越地震では、一時10万人を超える人たちが避難生活を強いられました。年の瀬を迎えて仮設住宅の建設も進み、そこに

ラク紛争、拉致問題も一向に進展がありません。内外ともいろいろな出来事がありました。皆様にはどんな年だったでしょうか。さて、MMCのこの1年を振り返って見ますと、活動の主なものとしてマスコミ就職セミナーを挙

たちに伝わったものと思っっています。10月末に開いた「広告セミナー」も盛況でしたが、終わったあと、お世話になっていく就職課から「電通に内定した商学部塩見見吾君です」と紹介されました。塩

年が開けますと1月26日にMMCの総会がリバティタワーで開かれます。役員改選期に当たりますので、新役員選出をお願いすることになります。これまでの話し合いで、若返りを図ること、また幹事団を一層充実させて行動力のあるものにするのが柱になっています。今後ともMMC活動、組織拡大のため、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 存在意義ますます重要に

## MMC 平成16年の活動報告

MMCが発足して今年でまる5年、多くの先輩の皆さんの地道な努力が、ここへきて確実に成果を上げはじめています。

明治出身のマスコミ界OBと、マスコミ界に就職しようという気骨ある在校生、この両者をつなぐ

明治大学マスコミクラブの存在意義は、益々重要なものとなってきた。河合会長のもと、マスコミ人、マスコミ予備軍が母校の教室に集って開く各種講座、セミナー、イベントは、回を重ねることに中身が充実してきて、大きな成果へとつながりだしてきたからだ。

以下、今年の活動状況の跡を振り返ってみよう。

まず、1月29日には、恒例の総会と新年懇親会が、母校リパティタワー23階の「紫紺」で、80人が参加して行われた。続いて月例会

は、案外なものにも知らないものです。そうしたことも考え、一人でも多くの人に受験の機会を与えることができればと思います。

セミナーに学生を無理に動員しても、やる気が無ければ無意味でしょう。しかし、「行きたかったのに知らなかった」という人が少なくないなら問題です。マスコミセミナー開催の周知徹底が肝心だと思っています。学生たちの健闘を祈っています。(日本放送協会・吾妻謙 93年文卒)

が開かれる予定だったが、講師の日程調整などで開催が遅れ、6月23日に、大会会館5階大会議室で時局講演会として、経済学部の高木勝教授が、「参院選後の年金問題とパブルの再来はあるか」のテーマで講演した。参加者は、42人だった。

昨年も大好評だったマスコミ就職セミナーは、7月7日の第1回「全体セミナー」を皮切りに、2回目は7月14日「アナウンサーセミナー」、10月13日「放送セミナー」、10月27日「広告セミナー」、11月10日「出版セミナー」、11月

24日「新聞セミナー」、12月1日「プロダクションセミナー」と合わせて7回のセミナーが開かれた。いずれも多くのマスコミ志望学生たちが参加し、大変な盛況だった。これらのセミナーが功を奏してか、一流マスコミ5社にそれぞれ内定者が出るという成果も上がっている。

また、夏に行われた「納涼ビアパーティー」には、54人が出席したほか、ゲストも招いて大いに盛り上がった。来年もさらに活発な活動が期待出来そうだ。(理事・鎌倉精一 41年文卒)

### 担当役員に敬意

久しぶりに御茶ノ水に伺いましたが、校舎の変容ぶりには大変驚かされました。モニターに映し出される授業のスケジュールや、シンプルで先鋭さを感じる内装のデザインなど、学舎というより、アカデミックスタジアムという装いで、その場に集う学生に対しても隔世の観を感じてしまいました。しかし、マスコミセミナーの会

## マスコミセミナーに参加して

今年のマスコミ就職セミナーで講師を務めていただいた皆さんから、セミナーの感想や、学生と大学、またMMCに対するメッセージなどを寄せてもらった。

### 《アナウンサー》



参加人数は比較的少なかったものの、熱心な学生ばかりで、本気度は相当高かったのでは、と思っています。



さには感動しました。マスコミ受験に対して何の準備もしていない私は、当初それほど熱心にマスコミへの就職活動をしませんでした。それは、受験しても採用されるのは無理だと勝手に思っていたからです。しかし、いくつかテレビ局を受験していくうちに、面接官によって自分でも気付かなかった才能、可能性が見出された気がします。自分のこと

### セミナーの周知を

講師として参加することは、自分の仕事を検証する、良い機会と

なりました。学生が少なかったことでは、ちょっと寂しい気もしましたが、参加した学生たちの熱心とセミナー開催の周知徹底が肝心だと思っています。学生たちの健闘を祈っています。(日本放送協会・吾妻謙 93年文卒)

### 自分の仕事見直す

私のような者が参加して、果して参考になるのか心配でしたが、すばらしいアナウンサーの方と一緒に、自分の仕事を見つめ直す良いきっかけになりました。機会を与えてくださって、本当



という感想でした。マスコミ業界においては、明大卒業生の方が圧倒的に少ないのが現状です。早慶の学生に比べ、受験する絶対数が少ないのがその一因だと思います。マスコミ業界で働きたいと思っている人は、「どうせダメだろう…」などと考えずとにかく受験してみてください。宝くじを買わないと当たらないの

### 《放送》

### どんどんトライを



今年も就職シーズンがスタートしました。少しでも多くの明大生が、われわれと同じ職場、業界に入ってもらいために、忙しい先輩たちも協力を惜しまないと思いますので、学生の皆さんも情報収集などにどんどん先輩を利用して欲しいものです。頑張ってください。(東京放送・本田由幸 81年政経卒)

### 自身の持てる人に



人にはそれぞれ「持ち味」があります。就職に「こういう人だな」と思っています。マスコミ業界で働きたいと思っている人は、「どうせダメだろう…」などと考えずとにかく受験してみてください。宝くじを買わないと当たらないの



と一緒で、就職試験も受けなければ合格しません。大学の就職課も学生たちに対し、どんどんトライすることを勧めてほしいと思います。

今年も就職シーズンがスタートしました。少しでも多くの明大生が、われわれと同じ職場、業界に入ってもらいために、忙しい先輩たちも協力を惜しまないと思いますので、学生の皆さんも情報収集などにどんどん先輩を利用して欲しいものです。頑張ってください。(東京放送・本田由幸 81年政経卒)

最後にありますが、ボランティアでこういった勉強会を運営されているMMCの役員の方々に敬意を表したいと思います。本当にありがとうございます。(博報堂・高荷力 95年政経卒)

### 受講の経験生かす

1年生の時から参加させて頂いたことで、マスコミ受験への心構えが出来ました。本当にありがたうございました。

マスコミ業界に入るにあたりまして、いつでも自分に磨きかけられるように常に世のなかに対して「アンテナ」を張っていたと思います。

仕事の面では、始めの数年間では仕事の基本を学び、その後は一定の間隔でスキルアップしていけるように自分を高めていきたいと思っています。また、人間は身体が資本



だと思えますので、適度な運動をしてハードな仕事にも耐え得る身体をつくりたいです。そして仕事と遊びを共に充実させることができる、心身共に健康な社会人になりたいと思います。

広告の仕事をするにあたりまして、目標はクライアントと消費者の双方を笑顔にできる広告マンになりたいと思っています。そして何年かした後、私が1年生の時からお世話になったMMCの就職セミナーに呼んで頂けるようにしたいです。どうぞよろしくお願

い致します。(ジェイ・アイ・シー 内定・高橋充文4年)

### 《新 聞》

### 好き 職業の幸せ

学生を前に話す機会を頂いたこ



### 自分に自信持つて

学生の皆さんへ。自分の考え

とを大変、嬉しく思っています。講演に先立ち、何を話したらよいかメモを作りましたが、その際に自分自身が経済記者として歩んできた道を振り返るとともに、現在自分が疑問に感じること、あるい

はマスコミ報道の問題点を整理できました。私の話がどの程度学生に影響を与えたかは定かではありませんが、自分にとって有意義な時間を過ごせたと思っています。学生に改めて言いたいのは「自分の好き」を職業にできるのは幸せなことだということです。ぜひ仲間に加わってほしい。明治大学は東大、早稲田に比べるとマスコミ内では人数的に劣勢ですが、大手マスコミに就職するスタートラインに立って大学です。もちろん運や巡り合わせもありますが、本人の努力次第で望みは叶います。

「明大出身者はマスコミ内少数派だが、心意気と仕事ぶりは群を抜く」—そんな評価を定着させ、少しでも多くの後輩を迎えられる環境を整えられたらと思っています。引き続き精進したいと思

います。(時事通信社・若下浩明 90年政経卒)



方を、これまでやってきたことに自信を持ってください。私たち社会人は、経験こそ豊富ですが、若い人たちの斬新な発想や行動力にはかないません。(日本経済新聞社・町田猛 90年政経卒)

### 《プロダクション》

### 母校愛持つ学生を

マスコミの世界は早稲田が幅を利かせている印象ですが、私の周囲には、出版社の編集者、ブックデザイナー、イラストレーター、ライターなどMMCに入っていないOB・OGは何人もいます。掘り起こせば、若返りも図れて錚々たる組織になると思います。昨今は、大学の個性が無くなっ

### スタジヤンに憧れ

不安と緊張を掲げて寒々とし空



て寂しい限りですが、校歌も応援歌も歌えず、野球やラグビーの応援にも行かないような学生は「明大生」ではないと思います。もっと母校愛を持った学生がマスコミに入ってもらいたいと願っています。

就職戦線でポーターライン上の学生がいたら「そうか、やっぱり明治か!」と「前へ」出る勢いで来る学生を獲りたくりますから。(風讀社・校條真 84年政経卒)

## 感動!! 「アジア子ども文化祭」



各国民族衣装でにぎやかにさよならパーティー

日本テレビ報道局で2年前定年を迎え、日本テレビ文化事業団へ180度転進。「アジアの分課交流に貢献したい」ということで、

日本テレビ報道局で2年前定年を迎え、日本テレビ文化事業団へ180度転進。「アジアの分課交流に貢献したい」ということで、

NGOのシャンティ国際ボランティア会と一緒に今年10月7日から1週間、「アジア子ども文化祭」を行いました。参加したのはベトナム

の下の駿河台の地で入試に挑む。試験会場でやさしく誘導してくれ、光沢ある白色のサテン生地にMEIJI UNIVERSITYと紫紺の太字が浮かび上がったスタジヤン姿の学生。戸惑いの中にある私に



例で「文学部女子」という肩書であのスタジヤンを羽織った。積極的行動、そして実行。真っ直ぐな思いが今度は逆の立場として私の経験に加わった。緑の下力持ちであるアーティストマネージャーという職業の今。何かの役に立ちたい。という思いはMEIJI UNIVERSITYの後ろ姿を見たその日から芽生えていたのかもしれない。積極的な行動と熱い思いは通ずるといふことを学べたことは貴重であり、行動力、経験、そして人脈が大切だと痛感している今の自分に影響しているに違いない。

安堵感を与えてくれた。そのやさしさが忘れられず、大学1年目の自分の足は、学生課へと向かっていた。今度は自分の番だ、「役に立ちたい」と。学生課へ通いつめ、異

熱い! 明治っばい!と言われる所以なのかもしれない。(ホリプロ・石垣美枝 97年文卒)

### 笑顔に勇気づけられる

ム、タイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、日本の総勢54人の子どもたち。アジアの子どもたちは、貧しい環境の子どもたちがほとんどです。

まずは、代々木のオリビックセンターで4日間の共同生活。国の違う子どもたちがチームをつくり、ゲームや運動会、アートクラ

フット制作、見学など、言葉の壁も難なくクリアし、あつと言う間に打ち解け、とても元気で楽しそうでした。そして11日、有楽町の読売ホールで子どもたちが継承してきた伝統芸能の公演。司会を明大OBの福岡功男さんが、ボランティアで出演してくれました。民族衣装をまとっての踊りは、妖精のように美しく、完成度の高

「次も絶対に行こう」と。(日本テレビ文化事業団事務局長・阿部剛 巳 67年商卒)

大学機関誌の一つに、年4回発行している季刊「明治」があります。装丁はきれいに仕上がっていて、一読者として見る時は、なかなかスマートな編集だと、他愛なく流していました。この季刊誌の編集委員会は、教授とOB合わせて10人で構成されていますが、MMCから河合会長と私の2人が編集委員を務めています。これまで3回の編集委員会に出席しましたが、委員諸兄姉は母校愛に溢れる熱心な意見開陳をされていて、感激しています。

しかし、編集委員として「明治」を読み返すと、まだまだ大学の匂いがふんぶんとして、改めるころが多いことに気づきました。在学生や父母、OB、教職員ら母校関係者に向けて「もっと魅力的な情報」を発信することができないか、というわけです。

## 季刊「明治」を魅力的に

—目賀田 武蔵

OBを誌上で紹介する新企画を提案しようというわけです。マスコミ界ばかりでなく、各界での若手の活躍ぶりは、在校生に自信を与え、父母の皆さんは子女への期待が膨らむことでしょう。ベテランOBは、後輩を頼もしく思うに違いありません。わが母校の在校生は3万3500人（平成16年9月末現在）です。そのうち女子学生が9553人と、3割近くを占めます。私が通学した40年前には考えられないほど、女子学生が多くなりました。キャンパスは華やいています。各界で母校OGも数多く活躍しています。「女性」の話題も掲載すべきでしょう。グラビア企画にもなります。

著述業として活躍するOB・OG著名人に、「随筆」を頼みましょう。これは、読者を引きつける企画で「売り」の一つにもなります。少々の原稿料が生じるでしょう。将来は「連載小説」もお願いし、義塾の「三田文学」の向こうを張るようにしたいものです。また、各界のリーダーとなつて

いるOB・OGに「原稿」をお願いするのは、成功談がいいですね。苦労話もいいでしょう。現代社会に対する「苦言」でも結構です。読者と誌面との交流も大切です。比較的大きなスペースを割いて「読者参加の欄」を設けたらどうでしょう。「詩歌」や「俳句」、

「老」「壮」「青」「女性」に配慮した編集の基本を確立することを目指すべきです。そして「知性」と「華やかさ」を兼ね備えた魅力的な誌面に育てようではありませんか。

そんなことを考えている「新米編集委員」です。

季刊「明治」は、年間購読料が2000円（送料込み）です。ぜひ読んでいただいて、ご感想や注文、ご批判をお寄せください。

季刊「明治」申込先  
明治大学広報部 江津氏  
☎03・3296・4083  
(元テレビ朝日、MMC理事長 64年商卒)

## 初のサマー懇親会開く

この夏、MMC初の試みとしてサマー懇親会「納涼ビアパーティー」を7月27日、リパティタワー17階「ラウンジ」で実施した。

元岡山放送社長で明大マスコミクラブ元会長の坂本哲郎氏が、春の叙勲で旭日小綬賞を受賞したお祝いと、野球部が12シーズンぶりのリーグ優勝（しかも完全）を祝いを兼ねた催し。会場には二重の喜びを分かち合おうと、会員50人が集まった。

ゲストは坂本氏と野球部の別府隆彦総監督、田中啓嗣遊撃手（4年）、原島正光外野手（3年）、清水渉平投手（2年）一場投手の後

## 2年ぶり楡氏優勝 快晴！ MMCゴルフコンペ

11月5日（土）快晴、無風、まったくけちのつけようの無いゴルフ日和であった。河合会長が四十肩（年齢詐称の声あり）で急遽欠場し、皆さん美しいコースに負けたのか、絶対のコンディションにもかかわらずスコアが伸びず、不肖楡がネット81で2年振りの優勝を

が次々とお祝いの言葉を贈った。司会とインタビュは、文化放送・鈴木純子、フリー・岩崎貴子のアナウンサーが担当して会を盛り上げてくれた。(I&SB BDO・和田哲郎 77年政経卒)

「投書欄」、短い「随筆」、「近況報告」、「同期会、クラス会の連絡」、「趣味」などのコーナーを作ります。社会的に落ちついた年頃になると母校が「懐かし」なるものです。そうしたOB・OGから広く情報を募るのです。そして、読者の参加意識を高め、誌面に対する関心を深めてもらうのです。

果たした。プレー後のパーティでは楡さんより「優勝がネット80台ではみっともない。皆のハンデキャップが実力に見合っていないのではないか。」

ハンデを適正なものに改正するか、競技方法を変える必要がある」との提案があった。これを受け次回からの競技方法の検討に入ることになった。



MMCゴルフで、2年ぶりに優勝カップを手にした楡氏

3月25日に観桜コンペ  
2005年3月25日（金）  
・名門 相模カントリー倶楽部  
・7組予約済みです。奮ってご参加ください。

コンペ会員募集中!!  
特に若手、女性会員

当倶楽部は楽しく、スコア、勝敗にこだわらずまじめにゴルフをプレーすることをモットーに年2回コンペを行っております。近年は若い人の参加も増えております。是非会員登録をお願いいたします。先輩後輩入り混じって和気藹々の楽しい会です。

☎090-2241-1121  
elm\_iku\_nire@yahoo.co.jp  
楡まで

〈秋季ゴルフコンペ成績〉

順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優勝	楡 郁太郎	43	41	84	3	81
2	坂本 哲郎	51	50	101	17	84
3	阿部 剛	50	47	97	12	85
4	阿部 剛	50	49	99	14	85
5	阿部 剛	50	50	100	14	86
6	阿部 剛	47	47	94	7	87
7	阿部 剛	49	45	94	6	88
8	阿部 剛	51	46	97	8	89
9	阿部 剛	48	52	100	10	90
10	阿部 剛	62	57	119	29	90
BB	阿部 剛	55	55	106	10	96
BM	阿部 剛	70	63	133	25	108

(注)①大西敏勝、②久保田研平、③西口 宏、④内田正彦、⑤斉藤柳光